

総統選挙の世論調査について

陳錦稷

総統選挙もいよいよカウントダウンの段階に入り、総統候補者のポイント差がどの程度が公開されていないものの、いよいよ混戦模様となって来た。本シンクタンクの最新世論調査では、蔡英文・蘇嘉全コンビが2.1%の差で馬英九・吳敦義コンビをリードしているものの、その差は誤差の範囲内ともいえる。蔡蘇コンビの支持率は40.4%、馬吳コンビは38.3%、宋林コンビは7.3%、未回答が14%であった。しかし、当選期待度の角度から見ると馬吳コンビが反対に蔡蘇コンビを12.7%上回るという結果になっている。馬吳コンビの期待度は43.1%、蔡蘇コンビが30.4%であり、支持率期待度の落差は、蔡蘇コンビに対する支持者の信頼度が未だ不足していることを物語っている。

また、総統選挙情勢が緊迫している状況においては、有権者の投票行動に影響を与えるささやかな出来事によって、選挙結果がひっくり返ることも容易にあり得る。国内外の経済情勢、株式市場の状況、中国の選挙介入、中国に在住する台湾人ビジネスマンの動向、選挙不正の混乱、さらには過去に発生したような重大な治安衝突事件の可能性など、選挙結果に影響を及ぼしかねないこれらの状況が緊張感を生みだしている。

本シンクタンクの世論調査研究センターは、全国(離島を含む)の満20歳以上の有権者に対し、現時点での総統選挙候補3組に対する支持率、期待度および支持政党を調査した。また、過去の選挙結果に影響を及ぼしたとされる重要な素因である失業問題、選挙不正、政権党の国家資源利用に

よる選挙介入、重大突発事件、中国の介入などの問題について電話調査を行い、台湾の有権者の見方を聞いた。調査は2011年12月23日から24日に行い、1,071名の有権者から聴取し、抽出誤差は3%以内である。世論調査の結果は下記の通りである。

1、総統選挙支持率：蔡蘇コンビ40.4%、馬吳コンビ38.3%、宋林コンビ7.3%

この調査によれば、蔡蘇コンビが馬吳コンビにおよそ2.1ポイントの差をつけてリードしている。前回の調査と比較すると、蔡蘇コンビは前回より0.3ポイント支持率を微増させており、馬吳コンビは前回の33.5%から4.8%支持率を伸ばした。双方の差は前回、蔡蘇コンビが馬吳コンビを6.6ポイント上回っていた状況からわずか2.1ポイントに縮まっている。また、特筆すべき点は宋林コンビの支持率は、第一回調査では13.7%、前回は11.2%、今回は7.3%と下降し続けている点である。

また、地域別にみると、馬吳コンビは台北・新北・基隆および桃園・新竹・苗栗、台中・彰化・南投でリードしているが、台中・彰化・南投地域でのリードはわずか1%である。このことから、来たる総統選挙の最後のカギを握るのは、各陣営ともいかに台湾中部を戦うかに関わって来るであろう。また、蔡蘇コンビは雲林・嘉義・台南、高雄・屏東地域において一定のリードを保っているが、前回調査と比べると、馬吳コンビがもともと苦手としている南部の雲林・嘉義・台南、高雄・屏東地域での支持率を10%以上も伸ばしており、これが双方の

支持率が拮抗する原因とみられる（下図1および2を参照）。

2、期待度：蔡蘇コンビ 30.4%、馬呉コンビ 43.1%、宋林配 3.4%。

多くの有権者が、現職の馬呉コンビの当選に期待していると感じ、その期待度は43.1%、蔡蘇コンビは30.4%であった。これらを分析すると、蔡蘇コンビの支持者のうち、66.3%が蔡蘇コンビの当選に期待しているが、馬呉コンビの支持者中、83.4%が馬呉コンビの当選を期待している。蔡蘇コンビの支持者からの信頼が不足していることがうかがえる。

3、政党票：民進党の政党支持率は32.8%、国民党の政党支持率は37.1%。

調査結果によれば、両党ともに比例区の議員獲得に必要な最低得票率5%はクリアしているが、ボーダーラインすれすれの親民党の支持率は4.3%に低下しており、引き続き努力が必要である。また、2.4%の有権者が今なおどの政党に票を投じるかを決めかねているものの、その投票対象は国民党、親民党、新党などのブルー陣営である。親民党にとって、こうした有権者の動きは重要であり、最低得票率を超えるか否かのカギを握っている。

国民党、民進党ともに制投票と総統候補への支持率はほぼ一致しているものの、親民党の政党支持率中、わずか48.2%が宋林コンビを支持しておらず、馬呉コンビが22.9%、蔡蘇コンビが10.8%という結果で

あった。このため、親民党の支持者は分裂投票を行う傾向があり、死票になる恐れがある。

図1

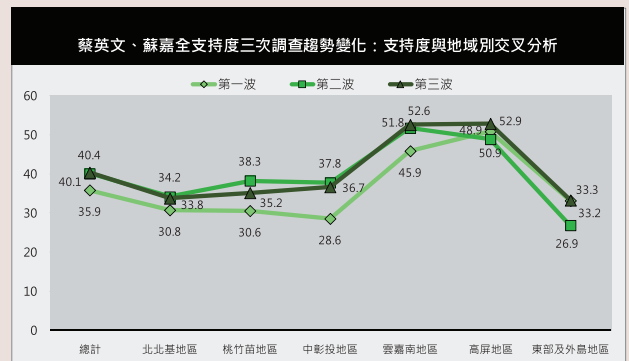
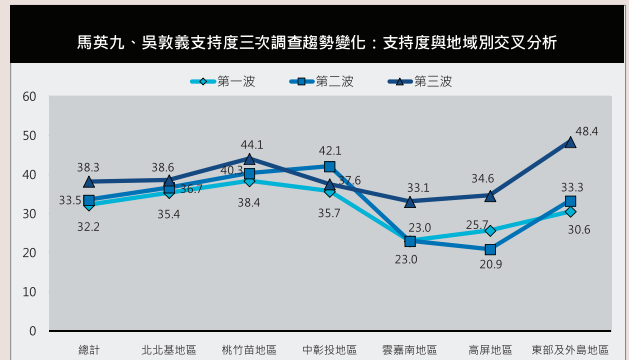


図2



4. 選挙に影響を与える素因

およそ3割の有権者(29.8%)が、2004年の総統選挙や昨年5大都市首長選挙の際に発生したような銃撃事件の再発を危惧している。また、37.8%の有権者が中国による台湾の選挙への介入問題を深刻に捉えており、49.0%が台湾の選挙不正問題が嚴重だと捉えている(非常に嚴重が30.5%、嚴重が18.5%)。さらに、12%の有権者が、今回の選挙に関する不正について見聞きし

た経験があり、収賄金額は 2001 元以上が最多であった。その他にも、米、麵、茶葉、電化製品などの贈答品の形式が採られている。こうした状況から分析すると、選挙買収が総統選挙に未だ大きな影響を与える一因となっていることが分かる。

「政権担当政党が国家および行政資源を選挙のために利用している状況は深刻か否か」といった問題に関しては、42.8%もの有権者が深刻だと回答し（非常に深刻が 27.2%、深刻が 15.6%）、深刻でないと回答したのは 35.4%であった（まったく深刻ではないが 6.0%、それほど深刻ではないが 29.5%）。また、「司法や検察が総統選挙に介入する問題」についての調査では、43.1%が深刻であると答え（非常に深刻が 26.3%、深刻が 16.8%）、深刻ではないとの回答は 35.4%（まったく深刻ではないが 8.8%、それほど深刻ではないが 26.6%）。

5、支持率の趨勢と変化

世論調査によれば、蔡蘇コンビの支持率は 40.4%で、馬吳コンビの 38.3%、宋林コンビの 7.3%、未回答が 14%であった。仮に未回答の有権者を、支持政党の傾向等から分析し、中国在住の台湾人ビジネスマンの帰国投票などの影響を加えると、総統選挙における両陣営の当落は 30 ~ 50 万票の間で決することになるであろう。選挙戦が激化するにつれ、ブルー陣営とグリーン陣営の対決姿勢という状況下で、それほど宋林コンビ支持者が国民党もしくは民進党へ票を転じるかが、最終的に選挙結果を左右するカギとなるであろう。

また、統計の観点から見ると、こうしたサンプル調査は厳粛なサンプル抽出および

統計方法によって行われており、信頼すべき母体に依拠した統計が可能なのが特徴である。

上の図中にある蔡蘇コンビの支持率趨勢線を見ると、その変化状況から以下のようなことが分かる。蔡英文と蘇嘉全コンビは 12 月 13 日から継続的に支持率を上昇させており、その上昇スピードは 12 月 19 日以降、より加速的度を増している。それに対し、馬吳コンビの支持率は 12 月 7 日以降、ゆるやかに下降している。宋林コンビの支持率も、少しずつ下降気味である。また、未回答者の率は非常に低くなっており、その動きは蔡蘇コンビの支持率の変化とちょうど相反する動きになっている。

12 月 13 日に始まった蔡蘇コンビの支持率上昇は、まさにこの日、民進党のスポークスマンが「宇昌事件」に関して言及し、行政部門の捏造であると明言したのと時を同じくしている。

支持率の趨勢を分析すると、選挙に対するネガティブキャンペーンは確実に基本的な効果を生んだようだ。12 月 19 日から、民進党スポークスマンが連日のように富邦が台北銀行を合併した際の、背後にある政商関係や、総統候補者である馬英九が台北市長時代に、富邦の宴会に招かれていたとされる疑惑について質したところ、行政部門が「宇昌事件」を騙って蔡英文氏を攻撃した状況から脱したのみならず、支持率からも分かる通り、民進党による富邦事件への攻撃は支持者を発奮させ、支持率の上昇に繋がっている。これにより、態度を決めかねている未回答の有権者率も同時に下降しており、民進党が支持者を獲得した結果となっている。

6、結論

世論調査の結果からみれば、相手陣営に対するネガティブキャンペーンモデルは確実に結果を得られる基本的な選挙戦略ということが分かる。しかし、ネガティブキャンペーンを展開する目的で行政資源を活用したり、攻撃のための根拠のない誹謗中傷は民主政治や法治社会で許されるべきことではない。例えば、宇昌事件に対する政治的喧伝は、対立候補を傷つけるのみならず、実質的には台湾の社会における民主法治の価値も傷つけたと言わざるを得ない。

また、「政権党による行政資源の選挙活用」および「司法による選挙介入」などの状況に対し、多くの有権者が深刻だと捉えており、台湾の選挙環境において改善すべき点がいまだ多くのこされていることを示している。司法が積極的に選挙不正を検挙する必要があるほか、選挙期間における行政資源や財政資源の濫用、行政の非中立、司法の非独立などの問題についても検討すべきである。

いかにして法治体制を整備し、公務員や行政の中立、司法の中立、行政資源の公共性尊重を実現するか、いかにして選挙制度の中で公平と信頼を得た選挙制度を実現するか、如何にして民主法治をさらに深化させるかが、すなわち台湾の民主制度がより前進するための課題である。BT